

諏訪地方の 経済概況 速報

2017.07

2017年6月末調査／2017年7月28日発行

SUWA AREA
ECONOMIC
OVERVIEW



諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

諏訪地方の概況

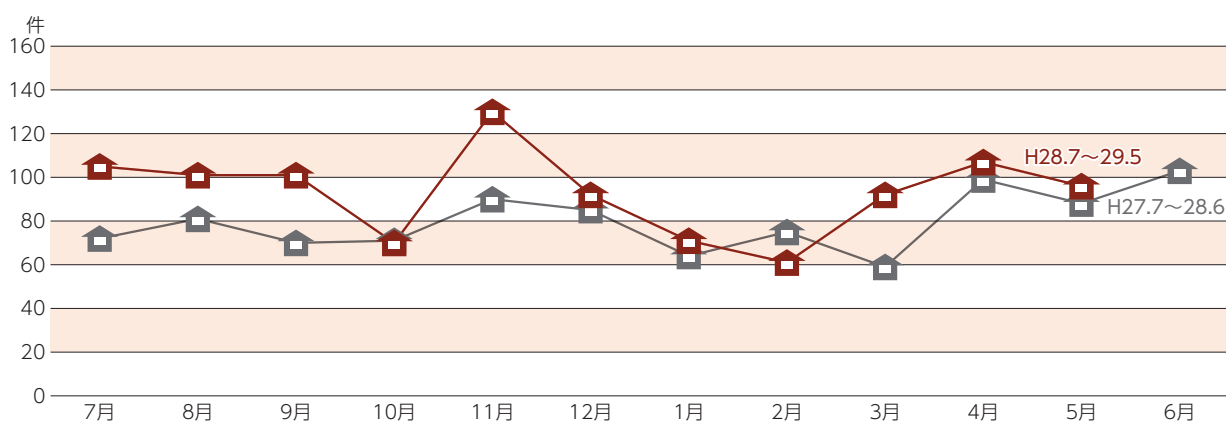
6月は、世界では北朝鮮の相次ぐミサイル発射、トランプ大統領のパリ協定離脱表明などの不安定要素はあったが、世界景気は緩やかに拡大を続けた。これを背景に、日本経済も総体的には景気拡大が続き、徐々に恩恵が広がりつつある。

諏訪地方では、製造業は半導体製造装置関連や省力化機械関連、自動車関連を中心に、幅広い業種で受注は堅調に推移している。非製造業は、個人消費の足取りが重い中で、商業は店舗によって業況に明暗があり、観光業は、梅雨入り後も週末の天候が良かったことから観光地の入り込みは好調だった。建設業は公共工事の受注が御柱祭があった前年を下回っている。個人消費拡大に必要な賃上げは、常態化する人手不足の中で人材確保に向けて行う企業がある一方で、支給額上昇が広まることで風当たりが強くなることを懸念する企業が、意識的に抑制するケースもある。

(諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ)

		実数	前年同期比	
有効求人倍率【5月】(諏訪公共職業安定所管内)		1.49倍	0.17ポイント	
手形交換高【6月】(諏訪手形交換所扱)	枚数	4,960枚	△385枚	
	金額	6,225百万円	194百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚	0枚
		金額	0千円	0千円
車庫証明取扱件数【6月】(諏訪地方合計)		1,041件	6.3%	
新設住宅着工戸数【H29年4~5月】(諏訪管内)		203戸	8.6%	

■新設住宅着工件数の推移(諏訪地方合計)



製造業

「多くの業種で回復傾向続く」

製造業は、世界的な半導体需要による製造装置関連などの受注増が続き、新型スマートフォン向けの需要も出ている。省力化機械関連は、搬送用機械や検査機、専用機、産業用ロボットなどが好調に推移しており、高水準の生産が続いている。増産や人手不足へ対応するための設備投資も活発化している。自動車関連は、減速感がある米国市場にはやや先行き懸念があるものの、上期(1~6月)の国内新車販売が3年ぶりに前年同期比でプラスになるなど需要が増加し、今後も堅調に推移するという見方が多い。低迷していた軽自動車にも改善傾向が見られる。工作機械も改善傾向となり、製造業は総体的に回復感がある。ただ、一部業種で、現在は今後の受注増に対応するための見込み生産の部分があり、実態より膨らんだ受注量となっている可能性があることから、市場の在庫が落ち着くと、一気に受注が落ち込むのではという懸念も出ている。

金属製品 プレス、メッキ、熱処理など	主要取引先からの受注が好調な上、業種や製品に関係なく受注が広がっている企業が多い。受注点数が多く、納期遅れが発生するケースもある。半導体製造装置や省力化機械関連に加え、国内メーカーが活発になってきた自動車関連からの受注も増加している。中国向け家電製品関連を取り扱う企業の中には、同国の購買層が富裕層から中間層に移行して購入量が増加し、広い市場規模のため今後も需要が続くと見る企業がある。ただ、材料費の値上がりは懸念材料となっている。
一般機械 工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など	多くの業界で省力化機械の需要が旺盛で各社の受注量が増加し、受注残高がバブル期のピークを上回る企業がある。諏訪地方で外注先が不足しているため、県外先を取り入れる企業や部品調達が間に合わず、納期遅れとなる企業もある。半導体製造装置関連の受注は堅調に推移している。自動車部品製造関連機械も「想定以上の受注」という企業があり活発化してきた。減少傾向だった工作機械は底を打った状況で、今後上昇見込みとなっている。
電気機械 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など	スマホ市場は台数だけを見ると頭打ち感があるが、中身は質の高度化が著しく、スマホ1台に搭載される電子部品の数が飛躍的に伸びている。中国のスマホメーカー向けや新型iPhone関連部品は好調を維持している。自動車向け電子部品も高水準で推移している。プリンター関連の受注もおおむね堅調に推移している企業が多い。
輸送用機械 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など	自動車部品関連は前年比増加傾向となっている。自動車部品は欧米では環境や低燃費を意識した高価な先端部品が主流で、中国やインド、東南アジアは低価格な部品供給となる傾向がある。部品点数の多さで現場が繁忙となり、休日出勤で対応する企業もある。好調だった北米向けはやや減少傾向。船外機市場は需要が多く、総重量軽減に向けた部品の高性能化と軽量化が求められる。海外向けの耐久性が高い重機は好調で、新興国の農業の近代化で農機も増加傾向となっている。
精密機械 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など	自動車関連の光学部品は順調で、南米や欧州への輸出が増加した企業がある。レンズに使う硝材は中国のレアアースが主だが、日本メーカーが代替材料を基に硝材を作り、価格が安定している。高機能機種の監視カメラや車載カメラは引き続き増加傾向となっているが、取引先や取扱い品によって業況に差が見られる。
製造業全般	夏場に向けて、味噌の需要は減少傾向だが、甘酒販売や天然仕込み蔵の体験などを行う味噌蔵がある。漬物は夏までがピークで高い水準で推移しているが、足元はやや足踏み状態。寒天は販売が好調で在庫量が減少した企業がある。衣料業界は弱含みで、秋物への期待感が強い。製造業関連の機械卸売業では、中小企業からの受注が増加。去年は補助金による設備投資だったが、今年は受注量の増加が要因と見られている。

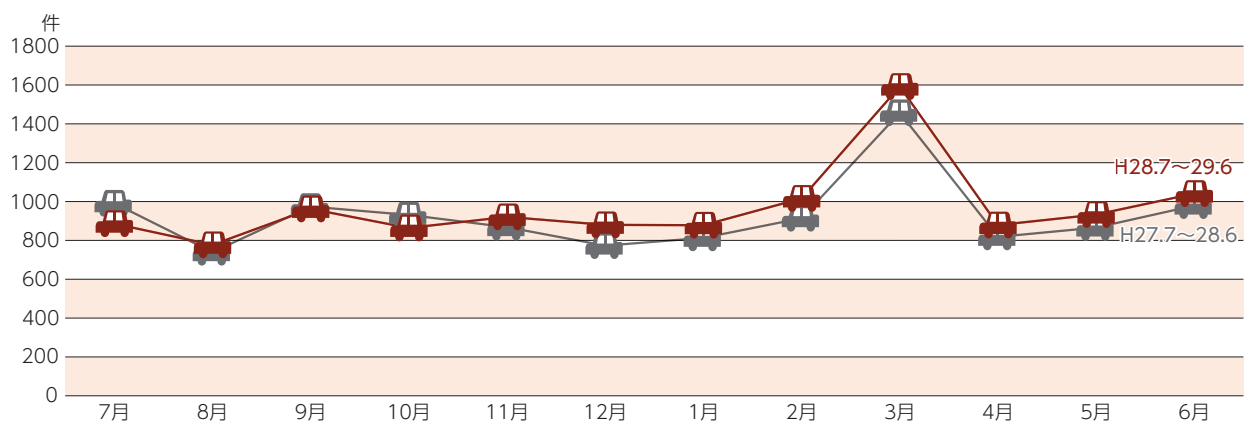
商業

「業種に明暗。将棋セットに動き」

諏訪地方では、6月末に大型店が茅野市で開店し、岡谷市のショッピングモールも開店1周年を間近にする中、松本市の大型モールの開店が近づくなど、今後の諏訪地方の商業環境が変化しそうな動きが見られる。製造業の業況が回復傾向に向かう一方で、個人消費回復の腰は重く、苦戦する業種もあり先行きには不透明感もある。家電製品の平均利用年数が伸びる傾向で、「高齢者を中心に壊れるまで使う人が多く、購買意欲は低迷している」という声が聞かれ、タクシー業では「企業のチケット利用が少なくなった」とする声もある。こうした中で、6月は将棋の公式戦で29連勝した中学生棋士、藤井聡太さん活躍の影響で、金額は多くないものの、将棋セットの売れ行きが伸びた店舗があった。

衣料	安価な夏物衣料や小物に動きはあるが、婦人服や子供服の売れ行きが低迷している。
食料品	ジャガイモは本州産の出荷が本格化し、昨年の北海道産の不作の影響が薄れ価格は安定した。鮮魚は依然高止まりしている。
家電製品	今夏の猛暑予想でエアコンの動きが伸び、省エネ効果がある冷蔵庫などの白物家電にも需要が見られた。
自動車	諏訪地方の6月の車庫証明件数が1,041件で、前年同月比62件、6.3%増加した。8ヶ月連続で前年同月を上回っている。ただ、個人消費の回復感に乏しさを感じる店舗が多い。
生花店	地域内の消費マインドは低調だが、大都市圏へのネット販売は好調。
飲食店	企業の利用が多くなった店舗があるが、以前に比べ、二次会以降に行く人が減少傾向。外食産業の業況は店舗によって見方が分かれている。
書店	児童書、文芸書、文庫は堅調だが、雑誌とコミックが低調。電子書籍の普及も影響している。
靴店	梅雨の時期に諏訪地方は雨が少なく、長靴の売れ行きが伸びなかった。
コンビニ	行楽シーズンに向け、弁当などの商品の充実を図る動きがある。人手不足が深刻な店舗が多い。

■車庫証明件数の推移



観光・サービス業 「梅雨入り後も天候に恵まれ入り込み好調」

諏訪地方の6月の気候は、上旬に梅雨入りしたものの、月間の降水量が平年より少なく、日照時間は6月としては戦後最も多かった。連休がない月だが、週末の天候が良く、レンゲツツジなどの草花が開花した高原の観光地では、山野草ファンやカメラ愛好者、ツーリング、ハイキング、グルメ客などの入り込みが多かった。諏訪湖周辺の温泉地は、関東方面からの修学旅行や1,600人規模の大阪信用金庫の旅行があり、団体客が前年同月を上回った。ただ、インバウンドの減少傾向は止まっていない。一部では、九州で発生した豪雨災害の影響が懸念されている。

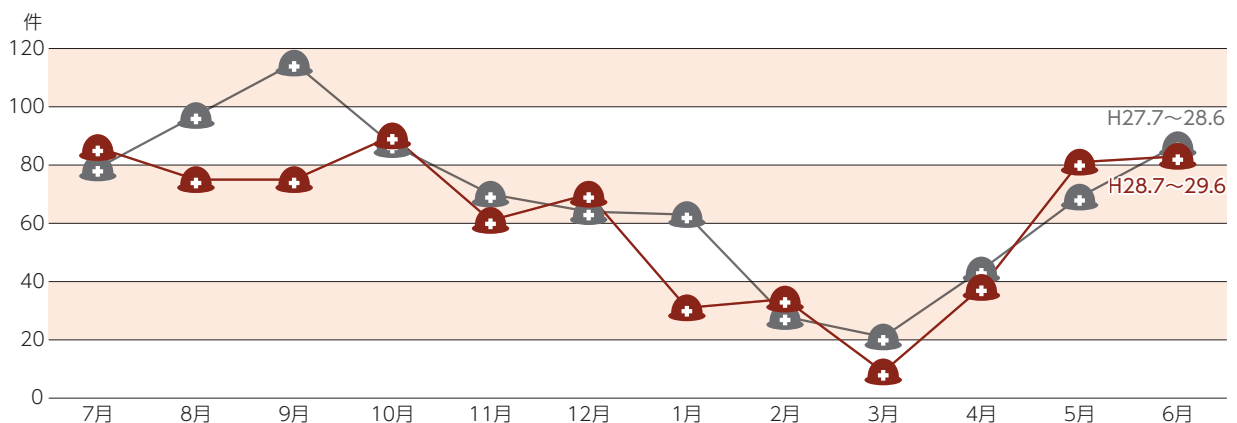
上諏訪温泉	宿泊客数は施設によって前年同月比8%減～17%増とまちまち。関東、東京、近畿からの宿泊客が前同月を上回った。盆や夏休みの予約は遅れ気味だが、諏訪湖上花火大会時の宿泊予約は、すでにキャンセル待ちの施設がある。
下諏訪温泉	埋蔵文化財センター効果などで修学旅行生が増加傾向となっている。映画の聖地巡礼人気もある。
蓼科・白樺湖・車山等	前年は御柱祭の影響で売上が減少した施設が多いが、今年は堅調。蓼科では、入浴と昼食を中心とする「はとバス」の日帰りツアーが増加した。富士見方面では、遅れていたスズランやアツモリソウが開花し、例年以上の入り込みがあった。
諏訪大社	上社・下社合わせた6月の参拝者数は約5万1千人。前年同月比では約9千人の減少(△14.8%)となった。

建設業 「公共工事受注が御柱年下回る」

6月の市町村からの受注工事は合計83件、772百万円となった。前年同月に比べ、件数は4件、契約金額は412百万円減少した。国県関係の平成29年4月～6月の累計公共工事(地元業者受注分)は、前年度より件数、契約金額とも減少した。御柱年の前年を下回る状況が続き、諏訪地域の新規工事調査案件も少ない。民間工事は、諏訪地方の5月の新設住宅着工戸数は96戸で、前年同月比8戸増加(9.1%)した。

公共工事	6月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、諏訪建設事務所3件、県施設課関係1件、諏訪地域振興局林務課4件、同局農地整備課2件、県警察1件の合計11件で、契約金額は292百万円だった。4～6月の累計は15件、352百万円で前年同期の累計比で件数は4件、契約金額は338百万円減少(△49.0%)した。市町村からの6月の受注工事は、建築工事0件、土木工事および下水道工事57件454百万円、その他工事26件318百万円となった。
民間工事	諏訪地方の5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比の利用関係別で「持家」は22戸増加の74戸、「貸家」は18戸減少の13戸、「分譲」は4戸増加の9戸、「給与」は変わらず0戸だった。長野県内の5月の新設住宅着工戸数は1,172戸で、前年同月比16.0%増加した。前年同月比の利用関係別では、「持家」は3ヶ月ぶり、「貸家」は2ヶ月ぶり、「分譲」は4ヶ月ぶりに増加した。

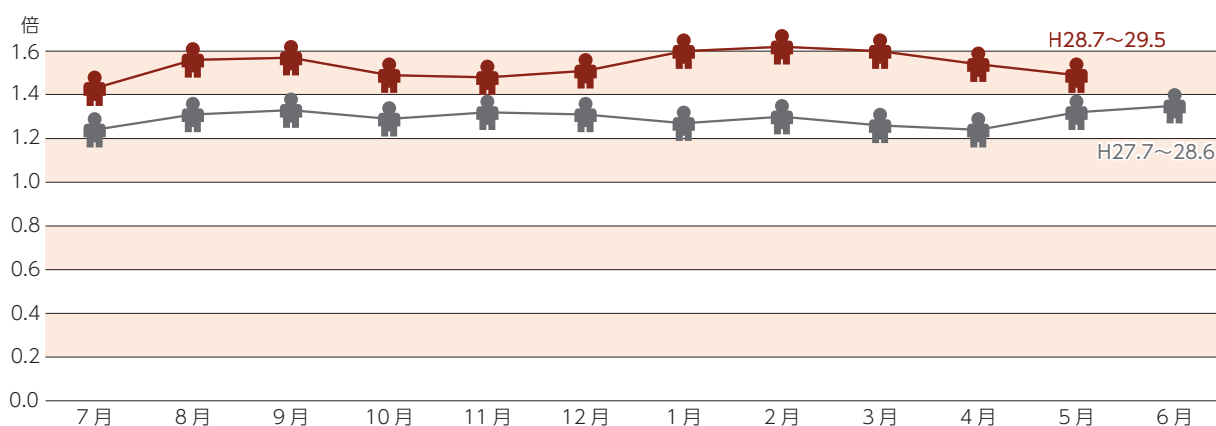
■公共工事の推移(市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く)



諏訪地方の5月の有効求人倍率は、前年同月を0.17ポイント上回り、前月を0.05ポイント下回る1.49倍となった。1倍台の維持は38ヶ月連続で、前年同月を上回るのは48ヶ月連続となっている。長野県平均は1.53倍で前月を0.01ポイント上回り、35ヶ月連続で全国平均を上回っている。景気動向の先行き指数とされる新規求人倍率は15ヶ月連続2倍台の高水準を維持している。全国平均は1.49倍で、昭和49年2月以来、43年3ヶ月ぶりの高水準。完全失業率は3.1%で、6ヶ月ぶりに悪化した。

諏訪地方の新規求人数(全数)は1,693人で、前年同月比106人増加(6.7%)した。要因別では、「継続する人員不足」「欠員補充」「創業・新分野展開」が増加し、「業務量増大」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は「製造業」「飲食店・宿泊業」が増加し、「運輸業」が減少した。新規求職者数は811人で、前年同月比24人減少(△2.9%)した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は31人で、前年同月より11人増加、前月比より79人減少した。

■有効求人倍率の推移



《企業のひとこと》

- 売上動向がリーマン前と全く同じ線を描いており、いやな感じがする(金属製品加工業)。
- 国内の動きが例年以上に活発で今後も期待できる情報や問い合わせが多い(一般機械製造業)。
- 新製品が立ち上がり、受注量が増加しているが、従業員が不足の上、残業削減のため、結局役員家族が不眠不休になる(輸送用機械製造業)。
- 人材不足が課題で、作業者的人材は確保が可能だが、技術者は困難(電気機械製造業)。
- 中国の同業者が環境基準の問題で製造が止まり受注増加の一因となった(精密機械製造業)。
- 気温が上がらず、寝具などのイベントが低調だった(小売業)。
- 運送会社から値上げ要請を受け、10%の値上げに応じた(小売業)。
- 「ハッピーサタデー」として第2土曜日は現場を休むようにしているが、実際は取り組めていない企業が多い(土木業)。
- 幼児連れは、気に入れば強力なりピーターとなるが、少しでも気に入らないと二度と来ない、さらに研修が必要(観光業)。

日本貿易振興機構 (ジェトロ)
長野貿易情報センター諏訪支所長
長峰 裕樹さん (35)



【略歴】

- 1981年 東京都生まれ
- 2004年 国際基督教大学卒業後、ジェトロ入構
- 2006年 岐阜貿易情報センター赴任
- 2010年 ナイロビ事務所 (ケニア) 赴任
- 2014年 東京本部企画部海外地域戦略班アフリカ担当
- 2017年 諏訪支所赴任

今年7月、諏訪支所に赴任し、初めて諏訪の地を訪れました。緑がきれいだなというのが第一印象です。あいさつ回りで企業や自治体など多くの人と名刺交換をしています。諏訪の人は感じの良い人が多く、メーカーさんには職人肌の人が多いと思います。これから、敷居を低くして丁寧に個別企業のご支援をしたいと考えています。

私のこれまでの人生の3分の1は、アフリカ生活です。幼少期と中学期は親の仕事の都合で、ジェトロ入構後は仕事でケニアに在住しました。中学時代に過ごしたケニアでは1週間、サバンナでマサイ族と生活しました。マサイの人は今では観光ビジネス的になり、携帯端末を使って金融サービスを利用したり、スニーカーを履いている人もいて、だいぶイメージが変わっていますが、当時は牛の糞を固めて作った家に住み、歯磨きに適した木の枝を選んで歯を磨き、真っ白で丈夫な歯を持っていました。そのマサイの人にハチミツの取り方や火の起こし方などを教えてもらったことが、今でも心に残っています。

ジェトロの仕事で赴任した時は、主に日本企業のアフリカへの輸出や投資などの支援をしました。アフリカの産品を日本へ売り込むことも仕事の一つでした。日本の大手コーヒーメーカーと連携して、アフリカの高品質なコーヒーを紹介し、時には現地視察を組んで、実際に生産している現場を見てもらうこともありました。赤道直下のケニアは暑そうに思えますが、実は標高が1700メートルで、日差しは強いです。日陰は涼しく、湿度も少なく日本の軽井沢と表現されることもあります。首都のナイロビの発展は目覚ましく、物量が急速に増加し、ビルが建ち、自動車の量も増えています。若者が多くエネルギーが豊富です。でも飛行機で1時間弱の場所では、野生動物が生息するサバンナが広がっています。諏訪から見ると、アフリカは物理的にも心理的にも遠く、ビジネスには縁遠いように思えます。確かに困難はありますが、いち早く市場参入できれば先行者利益も大きいというメリットもあります。

諏訪地方の製造業は、精密機械製造や加工処理などのレベルが高い上、航空・宇宙や医療分野への進出も進んでいます。そうした企業の海外展開の販路開拓が私の使命です。少子高齢化が進み、人口が減少している国内ではニーズの限界がありますが、海外へ目を転じれば、アフリカだけでなく、アジアや新興国などでは人口が急増し、高度な技術とか医療が必要とされるケースは多くあります。良い技術とニーズがあり、海外ビジネスのチャンスもある中で、どれだけ相手に理解してもらい、うまく売り込んでいくかが課題となります。加工技術や機械部品は、見てすぐにわかる商品ではないだけに、私自身も勉強が必要だと感じています。ジェトロではさまざまな企業支援ツールを用意しており、各地域や分野に知見を持つ専門家やアドバイザーと共に、海外ビジネスを目指す企業を個別に支援しています。引き続き丁寧な対応を心がけたいと思います。人事を尽くして天命を待つのが私の座右の銘です。

趣味は読書とスポーツ観戦で、大学時代は硬式野球部に所属し、ケニアではサッカーやバスケットをしていました。嫌いな食べ物はなく、肉や寿司、果物が好きです。気分転換にはジョギングしたりお酒を飲んでます。諏訪の人はフレンドリーな人が多いと思います。見かけたら気軽に話しかけていただければ幸いです。



SUWA SHINKIN BANK

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>